2.2 天然痘

2.2.1 概要8

(1) 特徴

ウイルス性疾患である天然痘は、撲滅された唯一のヒト感染症である。このため、現在は 定期的なワクチン接種は行われておらず、免疫原性は衰え、万が一天然痘ウイルスが研究機 関から放出された場合には、多くの集団が感染しやすい状況にある。一方、近年の研究で、 過去のワクチン接種により後遺症が残る可能性があることが示されている。

天然痘ウイルス Variola への感染は、飛沫やエアロゾル曝露によって発生する。10~14日間の潜伏期間の後、発熱と全身症状の前兆が開始する。発疹は発熱後1~4日後に始まる。数週間に渡って、斑、丘疹、小疱、膿疱、瘡蓋へと病変が同時に進行する。発疹症状がある間は感染力があり、瘡蓋が取れた後に感染力は治まる。

天然痘の死亡率は約25%であり、失明などの深刻な合併症が伴う可能性もある。

(2) 診断

天然痘への感染が最初に疑われるのは、特徴的な熱性発疹が生じた場合である。最終的な診断は、検査施設での血清試験、細胞培養、PCR、あるいは電子顕微鏡によって行われる。症例が一件でも発見された場合には PHEIC (国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態)となるため、当局は迅速に初期段階での感染の疑いのある患者に関する情報を把握する必要がある。

(3) 治療と予防

現時点では、FDA の承認を受けた天然痘の治療薬は存在しない。現在、開発段階にある 抗天然痘ウイルス剤は、テコビリマット(Tecovirimat:別名 ST-246 又はアレストビル) 及びリポソームシドフォビル(liposomal cidofovir)がある。これらの有効性は大流行の際 の緊急時使用承認(EUA)によって明らかとなるだろう。

テコビリマット(アレストビル)は、ベンチャー企業のシガテクノロジー社が35万以上の化合物ライブラリーから選び出したST-246(Tecovirimat)という化合物の名称である。

ブリンシドフォビル (Brincidofovir: 別名 CMX001) が主に検討されている。シドフォビルは抗ヘルペス剤として承認された薬だが静脈注射で腎臓障害の副作用があるため、経口投与できる CMX001 が開発され、動物実験で効果が調べられている。

 $^{^8}$ "Clinical Management of Potential Bioterrorism-Related Conditions", Amesh A. Adalja, et., New England Journal of Medecine 2015;March 5

天然痘の予防はグローバルな根絶キャンペーン中に追求されたサーベイランスと抑制の ための戦略に基づき、ワクチンの有効性に依存している。

現在使用可能なワクチンである ACAM2000 (Sanofi Pasteur Biologics)は、従来の Jenner vaccine (ワクシニアウイルスを使用) を基に開発されており、単回経皮投与される。 曝露 後かつ発疹が生じる前のワクチン投与は、天然痘の臨床症状を減衰させる可能性がある。

このワクチンには接種者 1000 人中 5.7 人に心膜炎・心筋炎の副反応のリスクがあることも予想されている。さらに、種痘性湿疹、汎発性痘疹、進行性種痘疹、種痘後脳炎の副反応リスクがある。また、深刻な免疫抑制を有する患者に対しては禁忌であり、新世代のワクチンが開発されている。新世代のワクチン(LC16 および Imvamune: Bavarian Nordic) は、それ以前のワクチンに対して禁忌を示した患者に関する安全性および免疫原性試験で有望であることを示した。Imvamune は備蓄され、緊急時使用承認(EUA)によって使用できるようになることが期待されているが、どのワクチンも現時点では FDA の承認を得ていない。

2.2.2 対抗医薬品・診断薬の開発状況

(1) 重点戦略⁹

PHEMCE 戦略実行計画において天然痘の対抗医薬品・診断薬の開発は、重点対象の一つとされており、バイオシールド法に基づき、MVA ワクチンの国家戦略備蓄への調達 2000 万ドーズ以上が 2010~2014 年までに完了している。天然痘に対するワクチンは現時点で十分発達しており、緊急時のワクチン投与のための戦略的国家備蓄の維持等が第一の目標とされる。 さらに抗ウイルス薬の開発も優先事項として出されている。

開発の優先事項は表 2-18 のように定められている。

表 2-18 PHEMCE 戦略実行計画における天然痘の戦略

- ワクチンおよび Vaccinia Immune Globulin Intravenous (VIGIV)の十分な備蓄を 維持する
- Modified Vaccinia Ankara (MVA) ワクチンに対する FDA 承認を得る
- 異なるメカニズムを有する二つの天然痘抗ウイルス薬に対する承認を得る

このような戦略目標に対して、各組織では以下のような方針を示している。 <ワクチン>

• PHEME:

- ▶ 緊急時に全国民にワクチン投与できるような対応能力を供給するため、戦略的国 家備蓄に十分な量の天然痘ワクチンを維持
- ▶ 国内のワクチン投与戦略の指針となる「国家天然痘ワクチン対応戦略」を発表(予定)
- ▶ 期限切れとなった現在の備蓄天然痘ワクチン (ACAM2000) や VIGIV の備蓄に 代替する準備
- 生物医学先端研究開発局:
 - ▶ MVA ワクチンに対する FDA の承認を得る
 - ➤ ライフサイクルマネジメントコストを削減するため、高温での消費期限と備蓄期間を延ばすよう凍結乾燥させた MVA ワクチンの開発

(2) 現在の対抗医薬品・診断薬の開発状況

2015年2月末現在、FDAに申請されている天然痘の対抗医薬品は、表 2-19のとおりである。なお、診断薬については申請中のものは確認されなかった。

⁹ HHS,2014 PHEMCE Strategy and Implementation Plan,2014, http://www.phe.gov/Preparedness/mcm/phemce/Documents/2014-phemce-sip.pdf

表 2-19 FDA に申請中の対抗医薬品の概要:天然痘 (smallpox)

凡例:①~⑬は FDA への臨床試験申請中の医薬品

	フェーズ不明	フェーズ1	フェーズ 2	フェーズ3	フェーズ4
治療薬		⑦国立アレルギー感染症研究所【SIGA-246 (アレストビル)】			**Cangene [VIG]
予防(ワクチン)	①②国立アレルギー感染症研究所【ワクシニアウイルスのコホート研究】	⑧国立アレルギー・感染症研究所【ワクシニア免疫グロブリン(VIG)】⑨⑩Sanofi【MVA】	④Bavarian Nordic 【MVA-BN】(HIV 患者) ⑤国立アレルギー感染症研 究所(NIAID)【IMVAMNE】 ⑥Sanofi【ACAM1000】	③Bavarian Nordic	①②Sanofi Pasteur 【ACAM2000】

[※] Cangene 社が CDC とともに申請しているワクシニア免疫グロブリン (Vaccinia Immune Globulin) の試験は一時中断。Cangene 社は emergentbiosolutions 社に買収された)

表 2-20 FDA に申請中の対抗医薬品一覧:天然痘 (smallpox)

	フェーズ	企業名	薬剤名	タイトル
1	フェーズ 4	Sanofi Pasteur	ワクシニアワクチン (ACAM2000)	ワクシニアワクチン (ACAM2000) の安全性サーベイランスコホート研究
2	フェーズ 4	Sanofi Pasteur	ワクシニアワクチン (ACAM2000)	ワクシニアワクチン (ACAM2000) の安全性サーベイランス
3	フェーズ 3	Bavarian Nordic	MVA-BN 天然痘ワクチン	MVA-BN 天然痘ワクチンと ACAM2000®を比較する非劣性試験
4	フェーズ 2	Bavarian Nordic	MVA·BN 天然痘ワクチン	HIV感染免疫不全被験者におけるMVA·BN天然痘ワクチンの安全性と免疫原性評価(無作為・オープンラベル)
5	フェーズ 2	国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID)	IMVAMUNE(抗天然痘ウイルス 薬)	IMVAMUNE (抗天然痘ウイルス薬) の安全性および免疫原性評価
6	フェーズ 2	Sanofi Pasteur, a Sanofi Company Sanofi	新天然痘ワクチン	成人における新天然痘ワクチンの用量の安全性、忍容性および免疫 原性の評価(天然痘予防接種未接種者)
7	フェーズ 1	国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID)	SIGA-246(抗天然痘ウイルス薬)	SIGA-246 (抗天然痘ウイルス薬) の天然痘への治療効果
8	フェーズ 1	国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID)	ワクシニア免疫グロブリン (VIG)	ワクシニア免疫グロブリン(Vaccinia Immune Globulin)の天然 痘への治療または感染予防効果
9	フェーズ 1	Sanofi Pasteur, a Sanofi Company Sanofi	MVA 天然痘ワクチン	HIV 陽性被験者における MVA 天然痘ワクチンの安全性研究
10	フェーズ 1	Sanofi Pasteur, a Sanofi Company	MVA 天然痘ワクチン	アトピー性皮膚炎の既往歴のある被験者における MVA 天然痘ワ クチンの安全性研究 (AD)
11)	_	国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID)	天然痘ワクチン	天然痘ワクチン接種に対する免疫応答
12	_	U.S. Army Medical Research and Materiel Command	天然痘抗ウイルス剤 Tecovirimat	オルソポックスウイルス曝露に対する Tecovirimat (ST-246) の効 果

2.2.3 FDA 申請中の臨床試験内容

表 2-21 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘(smallpox)①

NCT No.	表 2-21 FDA に申請中の臨床 NCT00928577	Phase	Phase 4	
NCI NO.	Safety Surveillance Cohort Stud			
タイトル				
27 1174	ワクシニアワクチン (ACAM2000)	の安全性サー	ベイランスコホート研究	
	Primary Objectives: To compare the rates of myopericard in deploying military subjects who re			
	in deploying military subjects who received ACAM2000® vaccine to rates among subjects positioned to deploy who would be personally eligible to receive ACAM2000 vaccine but			
概要	prior vaccination (as determined by aracteristics of their contacts.			
	To identify cases of subclinical my received ACAM2000 vaccine.	yopericarditis i	n deploying military subjects who	
	軍関係者を対象とした接種。 ACAM2000 ワクチンの接種者と非接 症状を比較する。	種者の中心筋心	膜炎の罹患および無症状心筋心膜炎の	
実施機関	Sanofi Pasteur			
協力機関			1100 1100 1100 1100 1100 1100 1100 110	
22.2	This is a prospective safety surveilla	nce study in a	US military Department of Defense	
	(DoD) population. Military subjects either naive to smallpox immunization and have			
	received ACAM2000® vaccine or who have previously been immunized with a vaccinia			
크샤 소매 크샤 미디	vaccine, usually Dryvax®, will be enr			
詳細説明	No vaccine will be administered as part of this study.			
	これは米国国防総省(DoD)軍事部門の将来の安全サーベイランス研究である。 天然痘の ACAM2000®ワクチンに感受性があり、又は以前に旧来のワクシニアワクチン			
	Dryvax®の免疫がある軍の被験者が研			
	この研究の一部として、ワクチン投与			
研究タイプ	観察研究			
デザイン	前向きコホート研究			
対象疾患	Smallpox			
	ACAM2000 Smallpox Vaccine Group			
	Participants are vaccinia vaccine-na		ceived ACAM2000 Smallpox vaccine	
A	as part of their Service Member read	iness process.		
介入・対	Other vaccinia vaccine Group Participants did not receive ACAN	12000 Smallsa	y vaccine as part of their Commiss	
照の内容 (詳細)		_	_	
(詳細)		Member readiness process because they are still protected by previous vaccinial vaccination or are ineligible for current ACAM2000 vaccination either because of recency		
	of prior vaccinia vaccination or for reasons solely attributable to conditions or			
	characteristics of their contacts.			
	・ACAM2000 天然痘ワクチングルー	 プ		
	参加者は、ワクシニアワクチンに感受		プロセスの一部として ACAM2000 天	
	然痘ワクチンを受ける。			
	・その他のワクシニアワクチン群			
	参加者は準備プロセスとして ACAM2 ワクシニアワクチン接種の免疫がある			
性別	Both	対象年齢	17 Years and older	
登録数	20000	資金提供	Industry	
申請日	2009年6月	開始日	2008年12月	
終了予定	2014年12月	最終更新	2014年10月	
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT00	928577		

表 2-22 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘(smallpox)②

NCT No.	表 2-22 FDA に申請中の臨床試 NCT00927719	Phase	Phase 4
NOI NO.	Safety Surveillance Study of ACA	the Charles of the Ch	
タイトル		Additional and the second	
	ワクシニアワクチン (ACAM2000)	の安全性サーク	ドイランス研究
概要	This is an enhanced safety surveillance Member population. Primary Objective: To evaluate the rates of suspected pericarditis in temporal association with Secondary Objectives: To evaluate the rates of cardiovasculary ACAM2000® vaccination. To evaluate the rates of neurological ACAM2000® vaccination. 兵役者に対する安全性サーベイランス研主な目的: ACAM2000®ワクチン接種のの発生確率の評価。	l, probable, a.th ACAM2000® lar adverse eval adverse eve	nd confirmed myocarditis and/or vaccination. ents in temporal association with temporal association with
	第二の目的: ACAM2000®ワクチン接種 率の関連を評価。	と心血管有害事	4象及び神経学的な有害事象の発生確
実施機関	Sanofi Pasteur, a Sanofi Company Sar	nofi	
協力機関			
詳細説明	The Armed Forces Health Surveillance Activity (AFHSA) will perform comprehensiv health surveillance through the operation of the Defense Medical Surveillance System (DMSS). Demographic and medical information gathered within monthly reports from the DMSS will be collected from approximately 100,000 to 200,000 military Service Members who received the ACAM2000® smallpox vaccine. 軍保健サーベイランス活動(AFHSA)において防衛医療監視システム(DMSS)を活用して		
	総合的な健康監視を行う。 DMSS から月次報告で収集された医療情 約10万~20万人の兵役メンバーのデー		然痘ワクチン ACAM2000®を受けた
研究タイプ	観察研究		
デザイン	後ろ向きコホート	-	
対象疾患	Smallpox		
介入・対	Biological: ACAM2000® smallpox vacc	ine	
照の内容	Biological: ACAM2000® smallpox vacc	•	
	Previous vaccination, no vaccine is adn		ie etudy
	ACAM2000® vaccinia vaccine Cohort	iiiiisterea iii tii	is study.
介入・対	Participants had received ACAM2000®	. vaccinia viru	s Smallpox vaccine.
照の内容	生物学的: ACAM2000®の天然痘ワクチ		*
(詳細)	以前のワクチン接種は、この研究で投	与されていない	10
	ACAM2000®ワクシニアワクチンコホー	· }	
	参加者は ACAM2000®、ワクシニアウィ		ケチンを受けていた。
性別	Both	対象年齢	17 Years and older
登録数	200000	資金提供	Industry
申請日	2009年6月	開始日	2008年12月
終了予定	2016年9月	最終更新	2014年11月
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT009	27719	

表 2-23 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘 (smallpox) ③

NCT No.	NCT01913353	Phase Phase 3	
タイトル	A Non-inferiority Trial to Co ACAM2000® MVA-BN 天然痘ワクチンと ACAM2	ompare MVA-BN® Smallpox Vaccine to 2000®を比較する非劣性試験	
概要	To demonstrate the efficacy of MVA-BN® by showing that vaccination prior to administration of ACAM2000® results in an attenuated take. 本研究はプラーク低下中和試験(PRNT)による抗体反応の測定を通じACAM2000®と比較した場合の MVA-BN 天然痘ワクチンの非劣性を分析し、MVA-BN 天然痘ワクチンの効果を検証することを目的とする。		
実施機関	Bavarian Nordic		
協力機関	United States Army Medical Research	Institute of Infectious Diseases	
詳細説明	To demonstrate the efficacy of MVA-BN® by assessing non-inferiority of MVA-BN® compared to ACAM2000® in terms of vaccinia-specific Plaque Reduction Neutralization Test (PRNT) antibody response at the Peak Visits (Day 42 for Group 1 and Day 28 for Group 2) and by showing that vaccination with MVA-BN® prior to administration of ACAM2000® results in an attenuation of take. ACAM2000®に比べた MVA-BN(登録商標)の非劣性を評価することで、MVA-BN(登録商標)の有効性を実証する。		
研究タイプ	介入試験		
デザイン	無作為化/有効性試験/並行群間比較認	、験/単盲検(アウトカム評価機関)/予防目的	
対象疾患	18-42 Year Old Healthy Vaccinia-naïve Subjects		
介入・対	Biological: MVA BN®		
照の内容	Biological: ACAM2000®		
介入・対 照の内容 (詳細)	・Biological: MVA BN® 0.5 ml MVA BN® with a nominal titre of 1x10E8 TCID50, administered as a subcutaneous injection Other Names: IMVMAUNE、IMVANEX・Biological: ACAM2000® 0.0025 ml ACAM2000®, consisting of 2.5-12.5x10E5 plaque forming units of live vaccinia virus (VACV). Picked up with a bifurcated needle and administered by the percutaneous route (scarification) using 15 jabs of that bifurcated needle. 二つのグループに分類。 Group 1 には、4 週間間隔をあけて二回 MVA BN® (0.5 ml MVA BN® with a nominal titre of 1x10E8 TCID50,皮下注射)投与した後、さらに4週間後(56 日目)に ACAM2000® を一回投与 0.0025 ml ACAM2000®, consisting of 2.5-12.5x10E5 plaque forming units of live vaccinia virus (VACV)。 Group 2 には、0 日目に 0.0025 ml ACAM2000®を一回投与。		
性別	Both	対象年齢 18-40 Years	
登録数	Null	資金提供 Industry	
申請日	2013年7月	開始日 null	
終了予定	Null	最終更新 2013年7月	
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT019		

表 2-24 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘 (smallpox) ④

activities of a viscostage and discussions			
NCT No.	NCT02038881 Phase Phase 2		
	Randomized, Open-label Phase II Trial to Assess the Safety and		
	Immunogenicity of MVA-BN Smallpox Vaccine in Immunocompromised		
タイトル	Subjects With HIV Infection		
447 305	HIV 感染免疫不全被験者における MVA·BN 天然痘ワクチンの安全性と免疫原性評価		
	(無作為・オープンラベル)		
	The main purpose of this clinical trial is to generate additional safety data in a highly		
	immunocompromised populationSubjects with HIV infection. Additionally, the immune		
	system's response (protection against smallpox as measured by the amount of antibodies produced) following injections of MVA-BN® smallpox vaccine will be evaluated.		
	Group 1 will receive the standard regime consisting of one dose at each vaccination time		
	point, Group 2 will receive two doses at each vaccination time point and Group 3 will		
	receive a booster vaccination 12 weeks after the first dose of the standard vaccination		
lur are	schedule with MVA-BN® smallpox vaccine. Participation in the trial is scheduled to last		
概要	up to 48 weeks.		
	本研究は、HIV 感染免疫不全被験者における MVA-BN 天然痘ワクチンの安全性に関する追		
	加的データの収集を主要目的、免疫原性評価を副次的目的とする。		
	グループ1は各ワクチン接種の時点で1回投与。		
	グループ2は各ワクチン接種の時点で2回投与。		
444	グループ3は12週間MVA-標準ワクチン接種スケジュールの初回投与後に追加接種を受ける		
	BN(登録商標)の天然痘ワクチン。裁判への参加は、48 週間まで持続することが予定されている。		
実施機関	といる Bavarian Nordic		
協力機関	— availali ivoidic		
詳細説明	Not Provided		
研究タイプ			
デザイン	無作為化/安全性・有効性試験/並行群間比較試験/非盲検/予防目的		
対象疾患	Smallpox		
介入・対	Biological: MVA-BN (Modified Vaccinia Ankara Strain-Bavarian Nordic) smallpot		
照の内容	vaccine		
	Experimental: Group 1 (standard regimen)		
	One injection at Day 0 and Day 28 with 0.5 ml MVA-BN® smallpox vaccine containing at		
	least 1 x 10 to the 8 Tissue Culture Infectious Dose 50% (TCID50) per ml		
	•Experimental: Group 2 (double dose regimen) Two injections at Day 0 and two injections at Day 28 with 0.5 ml MVA-BN® smallpox		
	vaccine each containing at least 1 x 10 to the 8 TCID50 per ml		
	• Experimental: Group 3 (booster regimen)		
介入・対	One injection at Day 0 and Day 28 with 0.5 ml MVA-BN® smallpox vaccine containing a		
照の内容	least 1 x 10 to the 8 TCID50 per ml (standard regimen) and one booster injection at week		
(詳細)	12		
	グループ 1(標準量): 0・28 日目に天然痘ワクチン MVA-BN®0.5 ml を containing at leas		
	1 x 10 to the 8 Tissue Culture Infectious Dose 50% (TCID50) per ml を一回ずつ投与。		
10000	グループ (2倍量): 0・28 日目に天然痘ワクチン MVA-BN®0.5 ml を containing at least		
	x 10 to the 8 TCID50 per ml をそれぞれ二回ずつ投与。		
	グループ 3 (追加接種): 0・28 日目に天然痘ワクチン MVA·BN®0.5 ml を containing at leas		
42.50	1 x 10 to the 8 Tissue Culture Infectious Dose 50% (TCID50) per ml を一回ずつ投与。その後、12 週目に追加接種。		
性別	Both 対象年齢 18 Years to 45 Years		
登録数	90 資金提供 Industry		
申請日	2014年1月 開始日 2014年4月		
終了予定	Null 最終更新 2014 年 12 月		
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT02038881		

表 2-25 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘(smallpox)⑤

NCT No.	表 2 ⁻²⁵ FDA に申請中の臨外試験 NCT01827371	Phase Phase 2	
IVOI IVO.	Phase II Trial to Assess Safety and		
タイトル	IMVAMUNE (抗天然痘ウイルス薬)		
概要	different modes of delivery.	three different immunization schedules and two のの予防接種スケジュール、二つの注射方法で投与	
実施機関	国立アレルギー・感染症研究所(NIAID)		
協力機関			
詳細説明	immunization schedules and delivery sy healthy, vaccinia naïve adults 18 years subjects will be enrolled and randomized Immunogenicity assessments will be assessments will be done via solicited in AEs will be collected until 28 days post subjects' study participation. Safety labo and 14 days after each vaccination. Pripeak PRNT will be defined as the higher second vaccination; Occurrence of solic receiving vaccine via the Stratis™ com collected on the memory aid and by in 13-0027.	performed using ELISA and PRNT. Safety njection site and systemic reactions. Unsolicited a last injection and SAEs for the duration of the pratory assessments will be performed at baseline imary outcome measures: For each subject, the est titer among all available measurements post acited local injection site reactions in subjects apared to syringe and needle administration as clinic assessment. Parent protocol to sub-study は東でかつ天然痘ワクチンに感受性がある成人におきシステムを用いた安全性試験。約352の被験者が	
研究タイプ	介入試験		
デザイン	無作為化/安全性·有効性試験/並行群間比較試験/非盲検/Prevention		
対象疾患	Smallpox		
介入・対	Biological: MVA Smallpox Vaccine		
照の内容			
介入・対 照の内容 (詳細)	Subjects receive two dose regimen of IMVAMUNE® (1x10^8 TCID50/0.5 mL per dose) via the SC route using either a syringe and needle or the Stratis™ system. Arm A receives doses via syringe and needle on days 1 and 29; Arm B receives doses via syringe and needle on days 1 and 15, Arm C receives doses via syringe and needle on days 1 and 22, Arm D receives doses via Stratis on days 1 and 29. 4つのグループに分け以下のタイミングで IMVAMUNE® (1x10^8 TCID50/0.5 mL per dose)を注射器で皮下注射(Dのみ Stratis™を用いた)。 ・グループ A (N=88): 1・29 日目に IMVAMUNE® を皮下注射。 ・グループ B (N=88): 1・15 日目に IMVAMUNE® を皮下注射。		
	・グループ C (N=88): 1・22 日目に IM ・グループ D (N=88): 1・29 日目に IM	VAMUNE® を皮下注射。 VAMUNE® を Stratis™を使用して皮下注射。	
		対象年齢 18~40 歳	
性別	Both Region Reg		
性別登録数	Prince Park	And Andrew Mr. Company and Andrew Mr. Company	
性別 登録数 申請日	435	資金提供 NIH	
登録数	435資2013年4月月	資金提供 NIH	

表 2-26 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘(smallpox)⑥

NCT No.			
	Dose Safety, Tolerability, and Immunogenicity of a New Smallpox Vaccine in		
タイトル	Adults Without Previous Smallpox Vaccination		
2 1 12.	成人における新天然痘ワクチンの用量の安全性、忍容性および免疫原性の評価(天然		
	痘予防接種未接種者)		
	The purpose of this study is to examine the safety and the effectiveness of a new vaccine		
	for the prevention of the disease, smallpox.		
概要	本研究は、新天然痘ワクチン ACAM1000 の安全性及び効力を評価するとともに、成人の少		
	なくとも 90%以上に広範な皮膚反応を引き起こす ACAM1000 の反応閾値を決定することを		
	目的とする。		
実施機関	Sanofi Pasteur, a Sanofi Company Sanofi		
協力機関			
	In addition to assessment of safety parameters, the objective of this study is to determine		
	the minimum dose of ACAM1000 that is calculated to produce a major cutaneous reaction		
	in at least 90% of a population of healthy adults 18-29 years of age and naïve to smallpox		
	vaccine. Specifically, the objectives of this study are to:		
	1.Compare the safety and tolerability of three dose levels of ACAM1000 and a standard		
	dose of Dryvax® in healthy adults 18-29 years of age and naïve to smallpox vaccine.		
	2.Determine the immunogenicity of three dose levels of ACAM1000 and a standard dose		
	of Dryvax® in healthy adults 18-29 years of age by comparing: (a)the proportion of		
	subjects at each dose level who develop a major cutaneous reaction; (b)the proportion of		
-W 4W	subjects in each treatment group who develop neutralizing antibodies, including the		
詳細説明	fold-increase in antibody titer between Baseline and Day 30 sera; and the geometric		
	mean vaccinia neutralizing antibody titer on Day 30.		
	3.Determine the minimum dose of ACAM1000 that is calculated to produce a major		
	cutaneous reaction in at least 90% of a population of healthy adults 18-29 years of age		
	and naïve to smallpox vaccine.		
	18-29歳の健康な成人集団で、少なくとも90%で天然痘ワクチンに感受性がある被験者を対		
	象に以下の目的で実施。		
	1.3つの用量レベルの安全性と忍容性を評価		
	健康 C が 3 人 然短 9 ク		
	保年用量の計画。 2.健康成人の ACAM1000 の 3 つの用量で免疫原性の評価。Dryvax®の標準用量を決定。		
耳がカノイ	2.健康成人のACAM1000の3つの用重く先及原住の評価。Dryvaxのの標準用重を依定。 介入試験		
研究タイプ	無作為化/安全性・有効性試験/並行群間比較試験/二重盲検(目的・介護者・,評価者)/予		
デザイン	無下海化/女主性·有効性試験/並打碎间比較試験/ 二重自使(自助· 并護有·,計画有)/) 防目的		
対象疾患	Smallpox		
刈水灰心			
	• Biological: ACAM1000 Group 1 dose: 1.4 x 10-8th PFU/ml (350,000 PFU)		
	Group 2 dose: 2.8 x 10-7th PFU/ml (70,000 PFU)		
	Group 3 dose: 5.6 x 10-6th PFU/ml (14,000 PFU)		
介入・対	• Biological: vaccinia virus (calf lymph) smallpox vaccine: Dryvax		
照の内容	Group 4 dose: 1.6 x 10-8th PFU/ml (250,000 PFU)		
ww> L 1 人口	四つのグループに分類。三つのグループには異なる用量の ACAM1000 を投与(Group 1 dose:		
	1.4 x 10-8th PFU/ml (350,000 PFU) Group 2 dose: 2.8 x 10-7th PFU/ml (70,000 PFU)		
	1.4 x 10-8th PFU/ml (350,000 PFU) Group 2 dose: 2.8 x 10-7th PFU/ml (70,000 PFU) Group 3 dose: 5.6 x 10-6th PFU/ml (14,000 PFU) し、Group 4 には Dryvax を 1.6 x 10-8		
	PFU/ml (250,000 PFU)投与。		
性別	Both 対象年齢 18-29 歳		
登録数	274 資金提供 Industry		
申請日	2003 年 1 月 開始日 2002 年 9 月		
終了予定	2003 午 1 月 最終更新 2014 年 1 月		
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT00053508		
OIL	1 http://Omnicarifiais.gov/sitow/ivOff00000000		

表 2-27 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘(smallpox)⑦

NCT No.	RCT00303225 Phase Phase 1			
1101 1101	SIGA-246 to Treat Smallpox			
タイトル	SIGA-246 (抗天然痘ウイルス薬) の天然痘への治療効果			
	SIGA 240(加入然短りイルへ架)の人然短への石族効果			
概要	To assess the safety and tolerability of SIGA-246 at various doses with a secondary objective of evaluating the pharmacokinetics of the drug. This study will test an experimental antiviral drug called SIGA-246 for use against the smallpox virus (variola). SIGA-246 has shown to have activity against other viruses from the same family (orthopoxvirus) that smallpox belongs to. Healthy volunteers who are 18-50 years of age and are not pregnant or breastfeeding may be eligible for this study. Candidates are screened with a medical history and physical examination, blood and urine tests, and an electrocardiogram. 本研究は、天然痘ウイルス(痘瘡)に対して SIGA-246 と呼ばれる実験的な抗ウイルス薬を試行する。生物兵器としての天然痘によるイベントでは、天然痘ワクチンに加えて、抗ウイルス薬を用いるのがベストである。 SIGA-246 は、天然痘が属する類(オルソ)のウイルスに対する活性を有することが示されている。対象者は、18-50 歳の健康なボランティアとし、病歴と身体検査、血液や尿検査、心電図でスクリーニングされる。			
実施機関	国立アレルギー・感染症研究所(NIAID)			
協力機関	国立衛生研究所・臨床センター(NIH/CC)			
詳細説明	SIGA-246 is an oral medication that has been shown to be highly active against variola virus and has demonstrated safety in animal models. The primary objective of this study is to assess the safety and tolerability of SIGA-246 at various doses with a secondary objective of evaluating the pharmacokinetics of the drug. 本研究の主目的は、様々な用量の SIGA-246 を投与し安全性及び忍容性を評価することであり、同薬の薬物動態を評価することを二次的な目的とする。 これらの目的を達成するために、30人の健康なボランティアが SIGA-246 またはプラセボを経口単回投与を受ける3つの投与群(500mg、1000mg、2000mg)のいずれかに登録される。			
研究タイプ	試験薬の安全性は歴史的、物理的、および臨床評価によって評価される。 介入試験			
デザイン	Primary Purpose: Treatment			
対象疾患	Vaccinia			
介入・対 照の内容 (詳細)	Drug: Vaccine: SIGA-246 To achieve these objectives, 30 healthy volunteers will be enrolled into one of three dosing groups (500 mg, 1000 mg, or 2000 mg) to receive an oral, single dose of SIGA-246 or placebo. In each of the three ascending dosing groups there will be 8 active drug recipients and 2 placebo recipients. Safety of the study agents will be assessed by history, physical, and laboratory evaluations. Pharmacokinetic endpoints include C(max), T(max), t(1/2), AUC, CI and urinary excretion. Urine will be collected in 3 8-hour intervals and serial blood samples will be obtained after study agent administration. 30 人の健康なボランティアを3グループに分け、10 人中8人には治験薬を投与し2人にはプラセボを投与する。3グループの被験者にそれぞれ500 mg, 1000 mg, 又は2000 mgのSIGA-246 又はプラセボを経口で投与。安全性は、経過、物理的評価、検査により評価。ワクチン投与後、採血、心電図検査、尿検査を実施。			
性別	Both 対象年齢 Adult			
登録数	0 資金提供 NIH			
申請日	2006年3月 開始日 2006年3月			
終了予定	2006年8月 最終更新 2011年11月			
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT00303225			

表 2-28 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘 (smallpox) ⑧

NCT No.	NCT00006630	Phase	Phase 1
	Vaccinia Immune Globulin in 7	Communication of the Section of the	CORP. MAN AND LONG BY THE CONTROL OF
タイトル	ワクシニア免疫グロブリン(Vacc 感染予防効果	inia Immune C	Hobulin) の天然痘への治療または
概要	The purpose of this study is to follow responses to treatment with vaccinia immune globulin (VIG) for safety and clinical benefit [during HIV vaccine research]. 本研究は、[HIV ワクチンの研究過程における]ワクシニア免疫グロブリン(VIG)を用いた治療に対する反応を追跡し、安全性と臨床的利点を評価することを目的とする。		
実施機関	国立アレルギー・感染症研究所(N		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
協力機関			
詳細説明	is the only product available for the The only lot currently available wa treated as an investigational new This study makes existing stocks of a licensed immune globulin to treat VIG (ヒト) は、ワクシニアワクチンVIG は、ワクシニアおよび他のオルト現在利用可能な唯一のロットは 1995のわずかな変色のため、研究新薬とし本研究では、短期的なソリューション	treatment of vas released as a ladrug because of VIG available as vaccinal infection を予防接種した。ポックス感染症のチャックスで扱われている。	人からの血漿の成分。 D治療に利用できる唯一の製品である。 製品としてリリースされたが、溶液中
研究タイプ	くる。		
デザイン	介入試験 Endpoint Classification: 安全性試験		
対象疾患	Primary Purpose: Treatment Healthy Communicable Diseases		
介入・対 照の内容	Drug: Vaccinia Immune Globulin (F	Iuman)	
介入・対 照の内容 (詳細)	Before receiving injections and 3 and 6 months after injections, patients are tested for HIV, hepatitis B, and hepatitis C with pre- and post-test counseling. Referrals for appropriate medical care are provided. Participants have multiple injections (depending on body weight) of VIG at 1 or 2 clinic visits. Following administration of VIG, participants are observed for 1/2 hour at the clinic. Participants return to the clinic for as many as 10 visits to monitor for any adverse reactions and signs and symptoms of vaccinia infections. On Days 7, 84, and 168 participants return to the clinic for evaluations and have blood drawn to check for the response to the VIG injections. (Detailed Description) 被験者は1~2回来院し、体重に応じた用量の VIG の接種をを複数回受ける。投与後30分		
	は30分間医療機関で観察。7、84、 の評価等のため、10回程度来院する		び採血のため再来院。被験者は副作用
性別	Both	対象年齢	Child Adult Senior
登録数	0	資金提供	NIH
申請日	2000年12月	開始日	Null
終了予定	Null	最終更新	2012年5月
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT(00006630	

表 2-29 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘(smallpox)⑨

NCT No.	NCT00282581	Phase		Phase 1
タイトル	Safety Study of MVA Smallpox Vaccine in HIV-positive Subjects Who Are Vaccinia Naive HIV 陽性被験者における MVA 天然痘ワクチンの安全性研究			
概要	The purpose of this study is to assess the safety and immunogenicity of two MVA smallpox vaccine injections in healthy adults that are 18·35 years of age with HIV infection 本研究は、HIV 血清反応陽性の健康な成人に MVA 天然痘ワクチンを二回接種することの安全性安全性と免疫原性を評価することである。			
実施機関	Sanofi Pasteur, a Sanofi Company S			
協力機関				
詳細説明	This is a multi-center study 90 HIV-seropositive subjects. There will be an injection of MVA smallpox vaccine or placebo on day 0 and day 28. Subjects will be enrolled and vaccinated in two cohorts according to CD4 cell count levels and number of subjects vaccinated. Excluding the screening period, the study duration will be approximately 56 days with a follow up safety visit at study day 148 and a telephone health status interview at study day 208. 本研究は、90 名の HIV 血清陽性の被験者を対象とした多施設間研究である。MVA 天然痘ワクチンあるいはプラセボを 0 日目および 28 日目に接種する。 被験者は、CD4 細胞カウントレベルおよびワクチン接種を行った患者数に応じて、二つのグループに登録され、ワクチン接種を行う。スクリーニング期間を除いて、研究期間はおよそ 56 日間であり、148 日目に安全性確認のための再診、208 日目に電話での健康状態調査を行			
研究タイプ	う。 介入試験			
デザイン	無作為化/Endpoint Classification/安全性試験/単群/予防目的/二重盲検(目的・評価者)			
対象疾患	HIV Infections Smallpox			
介入・対照の内容	Biological: MVA Smallpox Vaccine 0.5mL of MVA3000 Smallpox Vaccine, 2 doses, separated by 28 days. Other Name: placebo HIV 血清反応陽性の患者に対して、0 日目及び 28 日目に MVA smallpox vaccine 又はプラセボを投与 (MVA3000 Smallpox Vaccine 0.5mL, 2 回, 28 日間隔で投与)。CD4 細胞数とワクチン接種回数により二つのグループに分類。試験期間は約 56 日間であり、148 日目に追跡調査、208 日目に健康状態のインタビューを実施。			
性別	Both	対象年齢	Adult	
登録数	2	資金提供	Industry	
申請日	2006年1月	開始日	2006年10	月
終了予定	2007年7月	最終更新	2014年1月	月
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT00	282581		

表 2-30 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘 (smallpox) ⑩

NCT No.		Phase	Phase 1
h 2 1 3	Safety Study of MVA Smallpox Vaccine in Subjects With a History of Atopic Dermatitis (AD)		
タイトル	アトピー性皮膚炎の既往歴のある被 (AD)	験者における M	IVA 天然痘ワクチンの安全性研究
Santa Per	The purpose of this study is to ass		
	smallpox vaccine injections in healthy	adults that are	18-35 years of age with a history of
概要	mild to moderate Atopic Dermatitis.		
本研究は、アトピー性皮膚炎の既往歴ある健康な成人に MVA 天然痘ワクチ ることの安全性と免疫原性を評価することである。			
実施機関	Sanofi Pasteur, a Sanofi Company		
協力機関	Sanofi Sanofi		
加力が及(美)	This is a randomized, double-blind, pl	aceho-controlled	study subjects will be randomized
	to receive investigational vaccine or p		
	subjects will undergo a screening peri		
	subjects will receive injections on stud		
	or placebo. The clinical observation pe		
	at approximately 3 months after the s		
	blood collection and a review of the su		
	telephone contacts approximately 6 n		
詳細説明	the treatment/observation period.	aronoms aroer one	ond of the second injection during
נכי מעו שייו דע	無作為化、二重盲検、プラセボ対照試験。		
	被験者は3.5:1の割合で治験ワクチンまたはプラセボに無作為に割り付けされる。プラセボ		
	には MVA3000 が用いられる。		
	では MVA5000 パーパン・54 いる。 すべての被験者は研究 0 日に治験ワクチンまたはプラセボの注射を受ける。臨床観察期間は		
	56日目に終了。		
	50 日 日 により。 その後、追加の採血用研究注射 (試験日 118)、健康状態の確認のための来院(約 3 ヶ月後)		
	がある。フォローアップは、第二の注入終了後の約6ヶ月、電話コンタクトを介して行われ		
	る。		
研究タイプ	介入試験		
デザイン	無作為化/安全性・有効性試験/並行制	詳間比較試験/二	重盲検(目的, 評価者)/予防目的
対象疾患	Smallpox/Atopic Dermatitis		
	Biological: MVA (smallpox vaccine)		
	0.5ml of MVA3000 Smallpox vaccine, administered twice separated by 28 days,		
△ 7.₩	subcutaneous injections		
介入・対 照の内容	Other Name: placebo		
思の内容	0 日目及び 28 日目に MVA smallpox vaccine (MVA3000 Smallpox Vaccine 0.5mL)又		
	はプラセボを投与(3.5:1の割合で被	験者に MVA300	0 又はプラセボを投与する)。観察期
	間 56 日、118 日目に血液採取、二回目のワクチン接種の 6 ヶ月後に電話インタビュー。		
性別	Both	対象年齢	18 Years to 35 Years
登録数	0	資金提供	Industry
申請日	2006年10月	開始日	2006年10月
終了予定	2007年1月	最終更新	2014年1月
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT003	389103	

表 2-31 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘(smallpox)⑪

NOT NO	Name of the last o
NCT No.	NCT00325975 Phase Phase -
H 2 1 3	Immune Responses to Smallpox Vaccination
タイトル	天然痘ワクチン接種に対する免疫応答
概要	This study will examine how people s immune systems respond to inoculation with vaccinia virus the standard vaccine used to protect against smallpox and how these responses correlate with symptoms they develop after receiving the vaccine. People 18 years of age and older who are scheduled to receive smallpox vaccination as a routine part of their employment (e.g., laboratory worker, health care worker, or emergency response worker) may be eligible for this study. They may or may not have been vaccinated previously. In addition, individuals who were vaccinated against smallpox at least 6 months before starting the study may participate as control subjects. All candidates will be screened with a brief medical history and physical examination. 本研究は、ワクシニアウイルス接種後の人の免疫系の反応を検討する。また、ワクチンを受けた後の応答は、症状とどのように相関するかを検討する。また、ワクチンを受けた後の応答は、症状とどのように相関するかを検討する。に関いていている人は 18 歳以上の(例えば、実験室の労働者、医療従事者、または緊急時対応労働者)を対象とする。彼らは、あるいは以前にワクチン接種されていない可能性がある。少なくとも研究を開始の6か月前に、天然痘の予防接種を受けた個人は、対照被験者として参加することができる。すべての候補者は簡単な病歴と身体検査をうける。
実施機関	国立アレルギー・感染症研究所(NIAID)
協力機関	国立衛生研究所・臨床センター(NIH/CC)
詳細説明	Vaccinia virus is used to vaccinate persons to prevent disease with smallpox. Limited information is available regarding cellular immune responses to vaccinia virus. We will obtain blood from vaccinated persons and measure immune responses in vitro to the virus and correlate these findings with symptoms from vaccination. Elucidation of these responses might help to predict side effects associated with vaccination, and suggest new therapies to reduce these side effects. ワクシニアウイルスは天然痘の発症を防ぐために、ワクチンとして使用される。限られた情報では、ワクシニアウイルスに対する細胞性免疫応答に関しては利用可能である。本研究では、ワクチンを接種の人から血液を取得し、ウイルスへの試験管での免疫応答を測定し、ワクチン接種とこれらの応答の関連を研究する。これらの応答の解明は、ワクチン接種に関連する副作用を予測や副作用を低減するための新しい治療法を提案する可能性がある。
エルタント	る。 细索亚尔
研究タイプ デザイン	観察研究 Time Perspective: Cross-Sectional
対象疾患	Smallpox Vaccine
介入・対照の内容	
介入・対照の内容(詳細)	(Brief Summary) Participants in the following vaccination categories will undergo the procedures described for their group: Vaccine Recipient Frequent Follow-up Participants will come to the NIH Clinical Center every 2 to 3 days for a total of 7 visits over a 2-week period. At each visit, starting the day of vaccination, they will have the following procedures: • Brief skin examination, possibly with photographs of skin lesions; • Throat and skin swabs for vaccinia virus culture; • Blood draw (about 8 teaspoonfuls). Additional blood samples will be collected 1 month after vaccination and again within a year after vaccination. The blood will be analyzed for the immune response to the vaccine, genetic differences that might influence differences in immune response, and the presence of vaccinia virus. Participants will fill out a diary card every day for 3 weeks after vaccination to record any

symptoms. Individuals who develop symptoms lasting more than 2 weeks, such as persistent or new skin lesions, will return to the clinic for additional skin exams and blood tests. Individuals who develop vaccine side effects may have a urine culture for vaccinia virus.

Vaccine Recipient Infrequent Follow-up

Participants will come to the NIH Clinical Center for blood tests on the day of vaccination, 4 weeks after vaccination, and once again within a year after vaccination. At each visit, 6 teaspoonfuls of blood will be drawn. This group will also include individuals who have been vaccinated within 8 months of entering the study and are not currently receiving the vaccine, but for whom blood samples are not available.

Control Group Vaccinated at Least 6 Months Before Entering the Study

Participants will come to the NIH Clinical Center for blood tests every 2 to 3 days for 2 weeks, then at 1 month after the first blood draw, and again within a year of the first blood draw. About 8 teaspoonfuls of blood will be drawn at each visit.

以下のワクチン接種カテゴリーの参加者は、グループの説明した手順を受けることになる。 ・ワクチン接種者:頻繁にフォローアップ

参加者は、接種後 2 週間、合計 7 回、2~3 日ごとに NIH 臨床センターを訪問し、簡単な皮膚検査、皮膚病変の写真、ワクシニアウイルス培養用細胞接種(ノドや肌綿棒)、採血(茶さじ 8 杯分)をする。

血液は、ワクチン接種後1か月、及び1年以内に再度収集し、ワクチンに対する免疫応答、 免疫応答の違いに影響を与える可能性のある遺伝的差異、およびワクシニアウイルスの存在 について分析される。

参加者は、何の症状を記録するためにワクチン接種後3週間毎日日記カードに必要事項を記入。永続的または新しい皮膚病変として2週間以上持続的な症状を発症した場合、追加の皮膚試験と血液検査のために診療所を訪問する。

・ワクチン接種者: 時々フォローアップ

参加者はワクチン接種 4 週間後及び1年以内に NIH 臨床センターで血液検査(茶さじ6杯分採取)を行う。

・制御グループ:ワクチン接種研究前少なくとも6ヶ月

性別	Both	対象年齢	Adult Senior	
登録数	69	資金提供	NIH	
申請日	2006年5月	開始日	2003年2月	
終了予定	Null	最終更新	2014年11月	
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT00325975			

表 2-32 FDA に申請中の臨床試験内容:天然痘(smallpox)⑫

NCT No.	NCT02080767	Phase	Phase —	
	Tecovirimat (ST-246) Treat	ment for Orthopo	x Virus Exposure	
タイトル	オルソポックスウイルス曝露に	ニ対する Tecovirim	at(ST-246)の効果	
概要	The purpose of this clinical protocol is to treat individuals with Tecovirimat after exposure to orthopox viruses. オルソポックスウィルス曝露後、天然痘抗ウイルス剤 Tecovirimat を用いて治療することを目的とする。			
実施機関	U.S. Army Medical Research an	d Materiel Comman	d	
協力機関				
詳細説明	Not Provided			
研究タイプ	Expanded Access			
デザイン	Not Provided			
対象疾患	Smallpox Monkeypox			
介入・対 照の内容	Drug: Tecovirimat			
介入・対 照の内容 (詳細)	Drug: Tecovirimat Oral tablet 600mg daily dose. Other Name: ST 246 観察的試験 治験用新薬利用範囲 拡大のための試験。 Tecovirimat (経口タブレット 600mg 一日一回)の投与。			
性別	Both	対象年齢	Child Adult Senior	
登録数	Null	資金提供	U.S. Fed	
申請日	2014年3月	開始日	null	
終了予定	Null	最終更新	2014年11月	
URL	http://ClinicalTrials.gov/show/NCT02080767			

2.2.4 関連情報

表 2-33 天然痘 (smallpox) 対抗医薬品に関する報道情報 (1/2)

企業名	概要	薬剤名 /報道年月
Bavarian Nordic (デンマー ク)	 Bavarian Nordic 社は、米国における天然痘緊急事態に備え、 戦略的国家備蓄(Strategic Ntional Stockpile)に対して IMVAMUNBE 天然痘ワクチン 2,000 万ドーズの供給を完了した。これは、Bavarian Nordic 社と米国政府との 10 年に及ぶ 研究開発面でのパートナーシップによって実現され、これにより 2007 年に結ばれた\$5.49 億の契約が完了した。 連邦政府が 2007~2013 年度まで\$5.49 億の予算化 	IMVAMUNB E 天然痘ワ クチン /2013年11月
	(出典) Bavarian Nordic, Investor & Media, November 15, 2013 http://www.bavarian-nordic.com/investor/news.aspx?news=3051	
Bavarian Nordic	 BARDA は、引き続き Bavatian Nordic 社から戦略的国家備蓄 (Strategic National Stockpile)に IMVAMUNE の供給を受けることを決定した。これは、二つある補充オプションのうちの二つ目であり、これらの総額は\$2.28 億である。 本契約はまた、Bavarian Nordic 社が確立した製造能力の維持をも支援する。 2014 年 (\$1.18 億) 	IMVAMUNB E 天然痘ワ クチン /2014年9月
	(出典) Nasdaq Global Newswire, September 4, 2014 http://globenewswire.com/news-release/2014/09/04/663855/10097274/en/Bavari an-Nordic-Announces-Exercise-of-Contract-Option-by-the-U-S-Government-for -Continued-Supply-of-IMVAMUNE-r-Smallpox-Vaccine.html	
Bavarian Nordic	 現行の凍結乾燥 IMVAMUNE 天然痘ワクチンに関する契約下での資金供給。これにより、既に法的に認められたIMVAMUNE の製造過程をより大規模な商業用製造ラインに移行される。 Bavarian Nordic 社は本契約を 2009 年に受注し、続いて、複数の動物実験における現在の液体凍結製法と同等の免疫応答および有効性を誘発する天然痘ワクチンの凍結乾燥製法に対する承認を得た。 BARDA \$2,190 万の予算化(2014 年) (出典) Bio Prep Watch, April 24, 2014 http://bioprepwatch.com/countermeasures/barda-exercises-option-on-bavarian-nordics-imvamune/337214/ 	2014年4月

表 2-34 天然痘 (smallpox) 対抗医薬品に関する報道情報 (2/2)

企業名	概要	薬剤名 /報道年月
Emergent BioSolutions	 米国 CDC は連邦政府に vaccinia immune globulin intravenous (VIGIV)を供給する契約下でオプションを行使した。 VIGIV は、天然痘ワクチン接種による合併症治療のための、米国食品医薬品局 (FDA) ライセンス治療薬である。 本契約は、VIGIV1の FDA ライセンスを維持し、将来の製造に備えて血漿を収集することを支援する。 3年で\$1,890万 (2014年) (出典) Bio Prep Watch, August 12, 2014 http://bioprepwatch.com/countermeasures/medical/cdc-exercises-options-under- 	vaccinia immune globulin intravenous (VIGIV) /2014年8月
	emergent-smallpox-vaccine-therapeutic-contract/338976/	